

視覚障害教育特別支援学校教員の専門性

総合教育センター授業づくり支援課特別支援班

【A(あてはまる、講師ができる)、B(大体あてはまる、日々の学習活動に生かしている)、C(不十分である)】

内 容		自己評価
1 特別支援教育に関すること		
①	視覚障害児の発達と教育の役割について理解している	
②	眼の機能と視覚障害について理解している	
③	視覚障害と環境の認知に関する知識と指導技術を持っている	
④	点字とその指導に関する知識・技術を持っている	
⑤	段階に応じた歩行指導に関する知識・技術を持っている	
⑥	弱視について理解し、指導上の配慮ができる	
⑦	視覚障害を伴う重複障害児の指導内容・方法を理解している	
⑧	学習指導要領に基づいた教育課程を理解している	
⑨	視覚障害に基づく自立活動の指導について理解している	
⑩	発達障害について理解し、特性に応じた支援方法が分かる	
⑪	カウンセリングや教育相談に関わる知識・技術を持っている	
⑫	職業教育、進路指導に関わる知識・技術を持っている	
2 子ども理解、指導計画の作成		
①	視力などの視機能検査に関する知識・技術を持ち、分析ができる	
②	アセスメント結果を生かし、指導目標や手立ての立案ができる	
③	個別の指導計画の意義が分かり、作成できる	
④	個別の教育支援計画の意義が分かり、作成できる	
3 授業力、実践的指導力		
①	個別の指導計画に基づいた授業計画、授業展開、学習評価ができる	
②	視覚障害に配慮した教科指導ができる	
③	個々の実態を踏まえた目標が設定できる	
④	個々の目標を達成するために適切な手だてを講じることができる	
⑤	生活に生きる力を育て、児童生徒が主体となる学習活動の展開ができる	
⑥	個々の実態に応じた適切な教材・教具や補助具等を活用できる	
⑦	情報教育、コンピュータ等に関する知識・技術を持ち、活用できる	
⑧	TTによる役割分担を理解し、適切に連携・協力ができる	
4 保護者、地域・関係機関との連携		
①	センター的機能を理解している	
②	保護者の心理が分かり、連携・協力ができる	
③	医療・福祉・就労機関等について知識を持ち、必要に応じて連携がとれる	